

岡山県知事 伊原木 隆太 様

要 望 書

JR 西日本のローカル路線の維持・存続について

令和 4 年 8 月 9 日

主 旨

公共交通である鉄道は、経済合理性だけでは評価できない社会的便益を担う公共インフラです。

地方にとっては、通勤・通学・通院・買い物など地域住民の日々の暮らしを支えるとともに、都市部と地方を結ぶ大動脈であります。鉄道が存在し、各地域に駅があることで、これまで地域づくりが進められ、駅を中心に生活圏が形成されてきました。また、産業振興、観光振興、関係人口増加など地方創生を進めるために必要不可欠な社会基盤でもあります。

こうした状況の中、4月11日、JR西日本は輸送密度が2千人/日未満となっている17路線30区間について、線区別の経営状況に関する情報を開示し、不採算路線として明らかにしました。

該当区間の中に、因美線（東津山～智頭）、姫新線（上月～津山、津山～中国勝山、中国勝山～新見）、芸備線（備中神代～東城、東城～備後落合、備後落合～備後庄原、備後庄原～三次、三次～下深川）という、我々の社会経済活動の基盤となっている路線が含まれています。

JR西日本によれば、地域と各線区の実態や課題を共有し、具体的な議論をするための情報開示だとのことですが、鉄道の減便や廃止は、社会経済活動の低下に直結するものであり、また新たな交通弱者を生みかねないなど、地域が一層衰退することが懸念されます。

については、住民生活や経済活動の基盤である鉄道の維持のため、下記のとおり要望するものであります。

記

- 1 国に対し、JR西日本の社会的役割を踏まえ、ローカル線を維持するための抜本的な対策を講ずるよう求めること
- 2 他県と共同で、将来に向けてローカル線の維持・存続に資する

対策を国に求めること

- 3 沿線住民、経済団体とともに存続に向けた持続可能な取り組みを検討すること

因美線（東津山～智頭）、姫新線（上月～新見）、芸備線（備中神代～東城）沿線関係商工団体一同

（一社）岡山県商工会議所連合会 会長 松田 久

津山商工会議所 会頭 松田 欣也

新見商工会議所 会頭 林田 昌吾

岡山県商工会連合会 会長 田村 正敏

真庭商工会 会長 大月 隆行

作州津山商工会 会長 田村 正敏

鏡野町商工会 会長 中田 和友

久米郡商工会 会長 福島 一壽

みまさか商工会 会長 佐藤 宣義

阿哲商工会 会長 上田 久志